

年金生活者支援給付金の請求手続きはお済みですか？

令和元年10月1日に開始された年金生活者支援給付金は、老齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金のいずれかを受給している方で一定の要件を満たしている方に年金に上乗せして支給される給付金です。

対象者には令和元年9月に日本年金機構から案内が郵送されていますので、12月27日までに到着するように請求書を返送してください。令和2年1月以降に請求書を返送した場合は、請求書到着月の翌月分からの支給開始となりますのでご注意ください。

また、要件を満たしている方で案内を受け取っていない方や請求書を紛失された方など、ご不明な点は下記までご相談ください。

【問合せ先】 給付金専用ダイヤル ☎0570-05-4092
 岐阜南年金事務所 ☎273-6161
 住民課 ☎388-1115

教育委員会だより

「子どもたちの居場所と地域づくり」

羽島郡二町教育委員会 ☎245-1133

羽島郡では、小中学生が安心して遊び、汗し、笑う。このような豊かな時間が過ごせることを願って様々な活動を展開しています。

岐南町の、地域の方を講師に招いての「ふれあいまなびすと」では、アクセサリーなどの様々な作品作りや、プログラミングなどの教科に即した発展的学習を行っています。今年度は、前期に22教室を開講し、247人の申し込みがありました。講師として協力して下さる地域の方の増加もあり、教室の数も参加者も増加傾向にあります。昨年度の同じ時期に比べ、参加者は60人ほど増えています。

また、キッズウィーク期間中にも様々な活動を行いました。西小学校と東小学校の体育館では、「三ちゃん遊び隊」による昔遊び教室が行われましたが、学童保育の児童も含め、100人以上の児童が剣玉やあや取りなどの昔遊びに親しみました。アナログの遊びに触れるだけでなく、普段触れ合うことの少ない地域の人との関わりをもてる大切な機会でもあります。様々な人との関わりを通して、子どもたちは社会性を身につけていきます。

笠松町では親子のふれあいを大切にした「キッズウィーク親子教室」を行いました。地震や地層を学ぶ教室やUVビーズを使ったブレスレット作り、笠松競馬場探検ツアーなどの教室に、多くの親子が参加しました。2日間開催予定のミニかさ横丁は、台風のため1日のみの開催となりましたが、約500人の子どもたちでにぎわいました。キッズウィーク最終日には、プログラミング教室や笠松町みんなの音楽会が行われ、250人にのぼる来場者がありました。笠松町で活躍する文化団体と笠松中学校吹奏楽部の演奏や会場全体で合唱する「ふるさと」で大いに盛り上がりました。

今後もキッズウィークを通して、家庭・学校・地域との交流が進み、地域コミュニティが充実するよう、活動内容の充実に励んでまいります。

